

## 広島県三原市の養鶏場で 高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜確認！

12月7日、広島県三原市の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザ(HPAI H5亜型)の疑似患畜が確認されました。国内17例目の発生です。引き続き野鳥・野生動物侵入防止や、石灰散布等による消毒などの発生予防対策の徹底をお願いします。

**広島県三原市**  
**(17例目)**

兵庫県淡路市  
(10例目)

福岡県宗像市  
(9例目)

香川県三豊市、  
東かがわ市(1~8、  
13、14例目)

宮崎県日向市(11例目)、  
都農町(12例目)、都城  
市(15例目)

奈良県五條市  
(16例目)

★17例目

【農場の概要】

- ・農場所在地 広島県三原市
- ・飼養状況 採卵鶏 約8.1万羽  
(疫学関連農場 採卵鶏 約5.3万羽)

【経緯】

- ・12月6日、死亡羽数増加の通報を受け、広島県が立入検査を実施。
- ・簡易検査で陽性を確認。
- ・12月7日、遺伝子検査の結果H5亜型であり、疫学関連農場と併せ、HPAI疑似患畜と確認。

▶家きん舎には様々な経路からウイルスが侵入します。今一度、点検・確認と補修をお願いします。

- 防鳥ネットなどによる野鳥やネズミ等の家きん舎への侵入防止
- 農場に入る車両の徹底消毒
- 家きん舎ごとに、専用の長靴や作業服の着用
- 家きん舎に入る人や物品の徹底消毒
- 踏み込み消毒槽は、消毒薬が汚れたら交換

▶毎日、健康観察を行い、異状を発見した時は直ちに当所へ通報を！